

あいち支部第33定期大会

9月17日開催

全労連 一般愛知

発行

2018年
10月4日(木)

NO:10号

発行責任者

全労連・全国一般労働
組合愛知地方本部
執行委員長：煤本



愛知地方本部との組織統合を図る記念すべき大会となった。

9月17日(月・祝) あいち支部第33回定期大会が、開催された。今大会はあいち支部を解散し、

記 あいち支部 前執行委員長 市場丈規

「解散」は法的な手続き上の表現で地方本部強化のための統合で、愛知地方本部の中核を担うのは、あいち支部出身支部、単組であることに変わりない。1年半前に発足した新執行委員会は、従前の活動に甘んじることなく、「5つの組合活動の基本」を文字通り実践する中で、あいち支部を再生・創造する運動を粘り強く追及して来た。そして、昨年の定期大会では地方本部も巻き込み、愛知地本・あいち支部の統合という形での地本再生への道を踏み出した。愛知の全国一般運動の中核を担ってきた日本アクリル分会、ナトコ労組から次世代の役員として地本書記長、地本会計、機関誌担当を送り出し、着実な成果を上げてきている。それが、地本支部の活動報告に反映されている。

愛知の全国一般運動の歴史的な一頁を、全組合員の団結で切り拓こう！



執行委員長 煤本 本國治

9月17日に第46回の愛知地本の定期大会が開催されました。中央からは副委員長の藤原氏と中央執行委員の菊池氏、愛労連から知崎事務局長から挨拶がありました。今回の大会はあいち支部が地本と統合する為の大会でもあり、午前中にはあいち支部の大会において解散決議を行い、午後からは地本の大会において統一するという大事な大会でもありました。短い時間での質疑と討論でしたが、全ての議案が全会一致で採択されました。新体制の下で、組織内の団結と組織強化を図りつつ組織拡大に全力を挙げ取り組みましょう。

愛知地方本部定期大会



女性センター交流会総会

2日目 被災地バスツアー
もう震災から7年・・・ではなく、まだ7年と感ずる事が多くありました。震災関連のニュースが日々少なくなり、過去の出来事となりつつあるようなこの頃ですが旧大川小学校へ行った事は震災の復興に対する考えを少し変えてくれたと思います。大川伝承の会の鈴木さんのお話

を聞いて泣かずにいられませんでした。

鈴木さんはテレビ取材にも応じていらつしやる方なのでご存知の方もいらつしやるかも知れません。震災前、この大川小学校は地域のハザードマップでは津波が来ない場所として地域の避難場所に指定されていた学校でした。でも実は海拔「1メートル」しかないのです。それを伺った時は驚きました。

鈴木さんは大川小学校の生徒だったお子さんをこの津波で亡くされ、救助活動をしている最中に自身でお子さんのご遺体を発見されました。気丈に振舞っていらつしやいましたがその瞬間のお話を時々声を詰まらせながらお話してくださいました。まだ答えが見つからない、どうしてこうか・・・そんな思いを抱きつつ、亡くなられたお子さんと寄り添うようなお気持ちでこの活動を続けていらつしやるとの事でした。

「皆様の地域のハザードマップは安全ですか？大昔のものを繰り返し使っていないませんか？ここ（大川小学校の地域）もそうだったんです。この悲劇を繰り返さない為に皆様帰られたらハザードマップも一度よくご覧になってみて下さい。」そう仰った鈴木さんの思いを私も引き継いで行きたいと思いました。私は建築の設計業務をしています。鉄筋コンクリートの壁が

大きな力で突き破られたようになっていた校舎、ねじれ曲がったような渡り廊下、ここを襲った津波の威力の想像が出来ませんでした。本来なら命を守るための頑丈な建物が瓦礫となつて凶器になる・・・震災遺構としてこの校舎が後々の世にこの学校で起きたあつてはいけない出来事を多くの人に知ってもらいたいと訴えているように思いました。私のフェイスブックでも共有して多くの人に知ってもらいたいと思つています。

移動中、多くの防潮堤工事を横目に思ったことは本当にこここんな大きな防潮堤が必要なのだろうか？と言うことでした。被災地の方々も殆ど高台への移住を完了した地域では防潮堤設置を疑問視する声も多々あるそうです。それよりもっと必要な支援を無視している状態のような気がしました。事前学習会では「復興から取り残されていると感じている被災者の方が大勢いらつしやいます」と説明がありました。行政は必要の無い場所への防潮堤設置や復興住宅を作りきる事で完了しようとしている、それで終わらない現状がたくさんある事を今回は学べたと思います。

女性ユニオン分会 藤野民代

名古屋第一法律事務所 創立50周年記念レセプション

9月12日に、丸の内にあるアリス名古屋で表題のレセプションがあり参加してきました。私も元六法出版分会として、3回の争議（解雇事件2回・団交拒否事件）や倒産前の賃金確保に向けての差し押さえなどで事務所の先生にお世話になりました。会場は、事務所を育ててきた、古参弁護士や独立していった先生方、そして事務所にお世話になった関係者などが一同にそろう、200名を超える人たちで埋め尽くされました。スタート時は5名の弁護士でスタートした事務所も今では31名の先生を有する大きな組織になっています。私達た

たかう労働組合もしい存在でもあります。レセプションの最後に、田原弁



今後の予定

- 10月19日 四役会議
- 愛労連地域統一行動
- 10月30日 革新愛知の会（講演と文化の夕べ）市民会館
- 11月1日 地本執行委員会
- 11月3日 一万人アクション矢場公園

編集後記

「全国一般愛知」機関紙は今回で10号目となります。今回原稿、写真を提供して下さった皆様、ご協力ありがとうございました。

愛知地本執行委員

山田正吾